

北東北搜索犬チーム 平成年度 31 年度通常総会
議 事 録

- 1 日時 平成 31 年 1 月 27 日(日) 13:30~16:00
- 2 場所 青森市浪岡中央公民館3F
- 3 議事録作成者 成田道子
- 3 総会参加者 岩本良二・岩本久子・三上修悦・福原照子・山口最史・山口利正・
津川貴子・樽沢信子・工藤美穂・前田麻実・吉崎千賀子・三浦栄子・
三浦崇詠・菊池篤茂子・出町淳司・三上裕子・成田道子 (17 名)
- 4 議事内容
 - (1) 開会の辞
岩本良二理事長が開会を宣言した。
 - (2) 出席者数の確認
岩本良二理事長が出席者及び委任状の数から定足数に達している旨説明があり、議長選出に移った。
 - (3) 議長選出
岩本良二理事長が三上修悦氏を推薦し、満場一致で承認され、以降の司会進行は三上修悦議長が担当した。
 - (4) 書記選出(議事録作成)
成田道子氏が満場一致で選出された。
 - (5) 議事録署名人選出
岩本久子氏と福原照子氏が満場一致で選出された。
 - (6) 議案審議
ア 平成 30 年度事業報告
岩本良二理事長から以下のような報告があり、満場一致で承認された。
【事業報告からのピックアップ】
 - * 1/16 弘前市との「災害時における搜索犬の出動に関する協定」に係る締結式に出席。
今後も要望があれば積極的に協定を結んでいきたい。
 - * 3/18 東日本大震災の追悼と岩手県会員との交流会・訓練会を行った。
東日本大震災は、我がチームの原点なので、この活動は大事にしていきたい。
 - * 4/21-22 NPO 法人救助犬訓練士協会主催の IRO 公認国際救助犬試験を見学。
マニュアルが整備され、厳しい中にも楽しさのある試験だった。
 - * 7/14-16 RDTA 国際救助犬 広域搜索適正試験に 4 頭(ぶちよお、もみじ、イチゴ、きろ)が合格。今後本試験に合格できる犬を育てていきたい。
 - * 9/6-8 北海道胆振東部地震で被害の厚真町で行方不明者捜索に参加。
岩本理事長ひとりで参加したので、写真もままならなかった。

道庁の災害対策本部で指示を仰ぎ、厚真町の現場に向かった。

災害救助犬のイチゴと、囑託警察犬のみみじが捜索に向かった。ご遺体の発見には至らなかったが、ふとんや衣類を土中から発見、生存者やご遺体の可能性のあるところをチェックできた。

今後は囑託警察犬のライセンスでも能力のある犬は災害現場へ派遣したい。

＊9/29 青森県動物愛護センターで、セラピードッグに関する JAHA スキルアップセミナー開催。

講師に阿部容子先生(JAHA 認定家庭犬しつけインストラクター)と梅ヶ谷伸代先生(ひかりの岬こどもデイサービスセンター児童発達支援管理責任者)を迎え、講演を聞くとともに、ひかりの岬の子供たちとのふれあいの中で阿部先生の指導を受けた。

有意義なセミナーであった。新知見も得ることが出来て今後に生かしていきたい。

＊11/23-25 RDTA 第 29 回国際救助犬 瓦礫搜索適正試験に 2 頭(イチゴ、みみじ)が合格。

本試験に向けて、楽しく厳しく訓練していきたい。

＊12/15 青森県動物愛護センターでセラピー活動報告会および勉強会を開催。

「やすらぎの郷」の千葉靖子さん、「光の岬」の梅ヶ谷伸代さんからセラピー犬による活動の効果を具体的に聞くことができ、有意義であった。

全体の活動件数は、前年に比べ 22 件増であった。チームの皆さんの協力に感謝致します。

イ 平成 30 年度収支決算報告

岩本久子事務局長から報告があり、満場一致で承認された。

ウ 平成 30 年度会計監査報告

福原照子監事から報告があり、満場一致で承認された。

エ 平成 31 年度事業計画案

岩本良二理事長から以下のような計画案が示され、満場一致で承認された。

【平成 31 年度の活動目標】

- ・国際救助犬、囑託警察犬の認定試験合格と積極的な現場捜索活動
- ・セラピー犬のスキルアップと新たなセラピー犬の育成
- ・活動に必要な予算の安定的確保(積極的な会員募集と募金活動)
- ・ホームページの改定(3 月いっぱい切り替える)
- ・他団体の訓練・勉強会への積極的参加(青森にだけいてはおくってしまう)

オ 平成 31 年度予算案

岩本久子事務局長から予算案が示され、満場一致で承認された。

カ 役員(理事)補充、増員人事

1 名欠員の理事に山口最史氏が推薦され、満場一致で承認された。

また、セラピー犬の事業拡大に伴い、理事 1 名の増員が岩本良二理事長から提案され、満場一致で成田道子氏が選出、承認された。

キ その他の議案

岩本良二理事長から以下の議案が示され、いずれも満場一致で承認された。

A アドバイザー制度の導入

時代に即応した組織の運営と犬及びハンドラーの育成・活用を目的として、組織外の専門的知識を有する人に多角的視点から指導助言をしてもらう制度で、

- ◇ 嘱託警察犬アドバイザー：小山田松男氏
- ◇ 国際救助犬アドバイザー：村瀬英博氏と賢持宏昭氏
- ◇ IT アドバイザー：米沢和優、沙紀夫妻

が推薦された。

B 賛助会員(団体)増員のための施策

年会費 2 口以上加入で、その団体名をチームの車両にマグネットステッカーで掲示する

年会費 3 口以上加入で、その団体の名前を現場出勤服にワッペンで掲示する

現在のところ、

- | | |
|----------------|-----|
| ◇ 青森県民共済生活協同組合 | 2 口 |
| ◇ 青森県遊技業協同組合 | 4 口 |
| ◇ LRT 法律事務所 | 2 口 |
| ◇ 有限会社 三鉄建設 | 2 口 |
| ◇ 上北農産商事株式会社 | 2 口 |

となっている。

(7) 閉会の辞

岩本良二理事長が閉会する旨宣言し、平成 31 年度通常総会を終了した。

以上の議事の要領及び結果を明確するため、議長並びに議事録署名人は次に押印をする。

平成 31 年 1 月 31 日

特定非営利活動法人 北東北搜索犬チーム

議 長 三 上 修 悦

議事録署名人 岩 本 久 子

議事録署名人 福 原 照 子